

授業科目	精神障害作業療法学	3 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		作業	必修

科目担当責任者	池田 望 (保健医療学研究棟 E514 号) e-mail : ikedan@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	森元隆文、横山和樹、(宮田友樹)、(常盤野晴子・他)、		
概要	精神障害および精神障害を対象とする作業療法の理解を深めるために、精神保健医療福祉の現状、障害の捉え方、作業療法が果たす機能と役割、その治療構造、評価から治療・援助へ至る一連の作業療法の流れを学習する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の精神保健医療福祉の現状について概略を説明できる。 2. 精神医療・保健・福祉領域における作業療法の役割を説明できる。 3. 精神障害に対する評価から治療に至る作業療法の流れを説明できる。 4. 主な精神疾患に対する作業療法の概略を説明できる。 5. 精神障害当事者の視点から障害体験を説明できる。 		
関連科目	精神医学、神経内科学、臨床心理学、精神障害作業療法治療学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	筆記試験	80%	レポートは提出状況、内容により評価する。
	レポート	20%	
教科書	①長崎重信監修 [2015] 「作業療法ゴールドマスターテキスト改訂第2版 精神障害作業療法学」 MEDICAL VIEW		
参考書	①日本作業療法士協会監修 [2010] 「作業療法学全書 精神障害」 協同医書出版社		
履修上の留意点	精神医学等関連科目の復習をしておくこと。グループ演習では主体的に取り組むこと。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	日本の精神保健医療福祉の現状、精神保健医療福祉における作業療法の歴史	事前：テキスト予習 事後：テキスト復習	講義	池田
2	精神医療における基礎的理論①：精神分析・来談者中心・生活臨床・他	〃	〃	〃
3	精神医療における基礎的理論②：発達理論・集団理論・行動理論・認知行動療法・他	〃	〃	〃
4	精神医療における基本的知識：薬物療法・予後と再発・病識・リカバリー	〃	〃	〃
5	作業療法評価：評価の流れと手段	〃	〃	〃
6	作業療法評価：代表的検査、事例を通じた評価のまとめ方	〃	〃	〃
7	治療構造と治療・援助の場および症状へのアプローチ	〃	〃	〃
8	プログラム立案の考え方	〃	〃	〃
9	統合失調症の作業療法①—事例を用いた討議	事前：事前配布資料の確認 事後：配布資料復習	演習	池田・森元
10	統合失調症の作業療法②—発表	事前：事前配布資料の確認 事後：配布資料復習	〃	〃

11	気分障害の作業療法①—事例を用いた討議	事前：事前配布資料の確認 事後：配布資料復習	〃	池田・横山
12	気分障害の作業療法②—発表	事前：事前配布資料の確認 事後：配布資料復習	〃	〃
13	依存症の作業療法①—事例を用いた討議	事前：事前配布資料の確認 事後：配布資料復習	〃	池田・(宮田)
14	依存症の作業療法②—発表	事前：事前配布資料の確認 事後：配布資料復習	〃	〃
15	当事者との交流による精神障害者の体験理解	事前：事前配布資料の確認 事後：配布資料復習	〃	池田・(常盤野)